

エコアクション21環境経営活動レポート 第17-1版

(2024年4月～2025年3月実績報告)



2025年4月28日 作成
東海冷熱工業株式会社

目次

- 1 組織の概要
- 2 認証・登録の範囲
- 3 環境経営方針
- 4 環境経営目標
 - (1) 環境経営への負荷の状況
 - (2) 環境経営への取組の状況
 - (3) 環境経営目標
- 5 環境経営計画
 - (1) 環境経営への取組の状況
 - (2) 環境経営計画
- 6 環境経営目標の実績
 - (1) 環境経営目標の達成状況及び環境経営活動計画の実施状況
- 7 環境経営計画の取組結果
- 8 問題の是正処置・予防処置及びその結果
- 9 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
- 10 教育・訓練の実施
- 11 環境上の緊急事態の想定、予防策
ユニック車での機器の運搬及び諸々付属品運搬時緊急事態を想定したときの
対応策及び有効性の検証
- 12 代表者による全体の評価と見直し

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

・事業所名 東海冷熱工業株式会社
・代表者名 辻村 勝

(2) 所在地

・本社 静岡県浜松市中央区篠ヶ瀬町1369番地
・和地倉庫 静岡県浜松市中央区和地町3164番地

(3) 環境経営管理責任者氏名及び担当者連絡先

・環境経営管理責任者名 鈴木 勇次
TEL 053-465-5355
FAX 053-465-5352
mail mttoukaireinetu@carol.ocn.ne.jp

(4) 事業の概要

設立年月 昭和60年 6月8日
資本金 20,000千円

認証・登録証

- ①管工事業、電気工事業 建設業許可番号 静岡県知事許可(般一28)第22949
- ②第1種フロン類回収業者登録 静岡 100128
- ③ " 山梨県第1272号
- ④ " 愛知県第1230220019号
- ⑤産業廃棄物収集運搬業許可取得 第02201211694号(自社運搬のみ)
- ⑥<静岡県>男女共同参画社会づくり宣言事業所・団体登録
- ⑦インターンシップ制度活動事業
- ⑧事業継続力強化計画(BCP認定) 関東経済産業局20221205関東第37号

営業種目

- ・空調設備工事
- ・恒温恒湿装置設備工事
- ・冷凍、冷蔵庫装置設備工事
- ・冷媒配管設備工事
- ・ガスヒートポンプエアコン(GHP)設備工事
- ・フロンガス回収(無害化破壊処理)
- ・工業、農事用冷却装置設備工事
- ・保守点検整備工事

【設計・施工・保守メンテナンス】

(5) 事業の規模

	単位	2022年	2023年	2024年
売上高	百万円	284	318	323
従業員	人	14	14	15
床面積	m ²	668.25	668.25	668.25
(和地倉庫)	(m ²)	508.63	508.63	508.63
(本社工場)	(m ²)	115.08	115.08	115.08

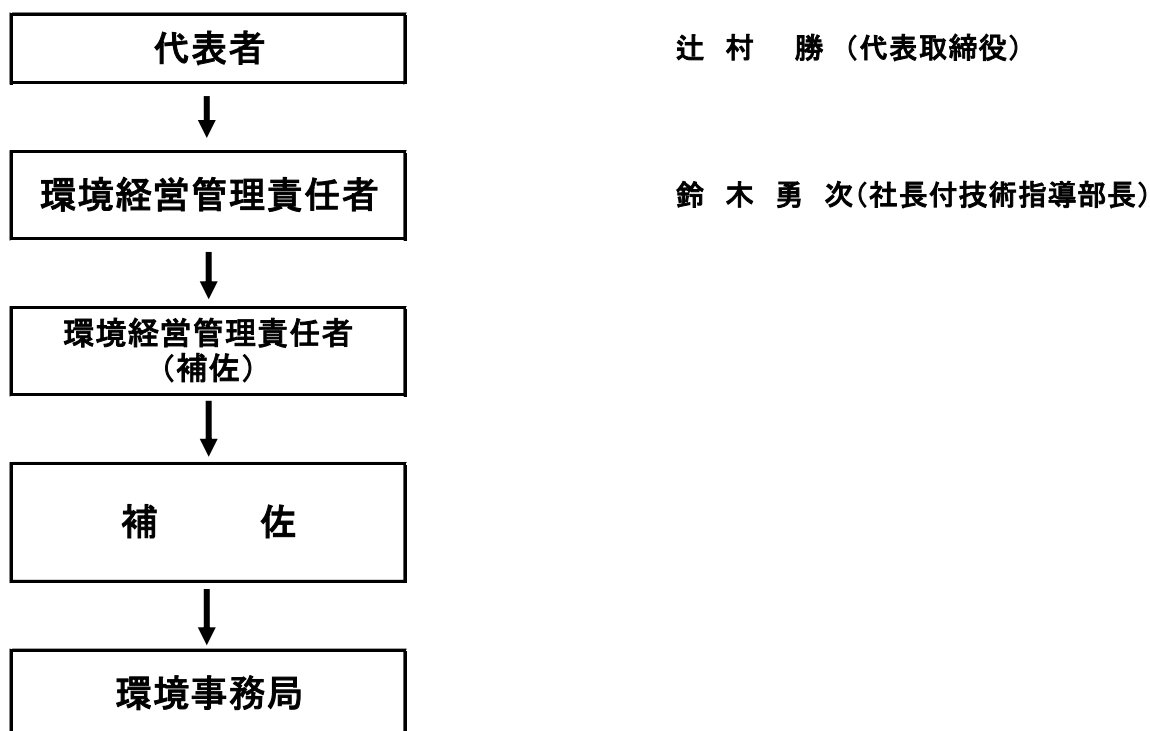
2. 認証・登録の範囲

対象組織: 東海冷熱工業株式会社 本社、和地倉庫

対象活動: 管工事業(冷凍、空調施設)及び電気工事業(再生可能エネルギー 発電設備)
の設計・施工・メンテナンス並びにフロンガスの回収作業

エコアクション21〈組織体〉

東海冷熱工業株式会社



担当者	業 務 内 容
代表 （辻村 勝）	- 効果的な環境経営マネジメントを実施する為に役割、責任、及び権限を定め各自が認識できる組織体制を従業員に周知する。 - 環境経営管理責任者を任命しEA21の運用における責任と権限を与える。 - 定期的にエコアクション21全体の取組状況を評価し、全体的な見直しを実施し必要な指示を行う - EA21の実施及び管理に必要な人員、設備、費用等を準備する。 - 環境経営方針を制定する
環境経営管理責任者 （鈴木勇次）	- 環境経営方針に基づく目標の設定及び推進確認。 - エコアクション21の運用状況等を代表者に報告する - EA21システムの円滑な運用。 - 各データの取りまとめ、レポート、文書等の作成及び管理。 - 社長への進捗状況並びに実績の報告、連絡、相談。 - 補佐、従業員への協力要請、並び指示。
環境経営管理責任者補佐	- 環境経営管理責任者の補佐 - 事業所と現場との調整
補佐	- 環境経営管理責任者の補佐 - 現場サイトでの取りまとめ
補佐	- 環境経営管理責任者の補佐 - EA21の書類関係の保管
環境経営事務局	EA21システムの円滑な事務的サイドよりのサポート
全従業員	EA21活動の適切な実践

3. 環 境 経 営 方 針

【基本理念】

東海冷熱工業株式会社(以下当社という)は、社会の一員として地球環境を守ることの重要性を認識して、行動指針を制定して環境保全に努めます。

【行動指針】

当社は、冷凍、空気調和設備工事及び販売の事業活動において環境経営に与える影響を少なくするために、以下の環境保全活動を推進します。

- ① 省エネ機器の普及に努めます。
- ② 事業活動において、資源を大切に省エネルギーや資源循環などに取り組みます。
- ③ 環境汚染を未然に防止しながら環境に配慮した経営を継続し常に改善します。
- ④ 環境関連法令(フロン排出抑制法等)を遵守します。
- ⑤ 次の事項を、重点的なテーマとして、環境経営目標を設定し、必要に応じて見直し、効果的な取り組みを行います。
 - ア・ 二酸化炭素排出量を削減します。
 - イ・ リサイクル率の向上に努めます。
 - ウ・ 化学物質使用量の削減及び適正な管理に努めます。
 - エ・ 節水に努めます。
- ⑥ 行政や地域における環境保全活動に対し積極的に参画し、地域との融和を図ります。
- ⑦ 環境経営方針を全ての従業員に周知徹底し、環境保全に関する知識・認識の向上を図ります。
- ⑧ この環境経営方針及び環境経営活動レポートは、社外の人にも公開します。

制定 2007年 9月26日

改定 2021年 4月 1日

東海冷熱工業株式会社
代表取締役 辻村 勝

(3)環境経営目標

重点項目	目標		中期環境経営目標		
	2022年度 実績	基準(指標)	2023年度	2024年度	2025年度
環境にやさしい省エネ機器の提案			省エネ機器の普及に努める		
化学物質使用量の削減および適正な管理かつ安全使用の徹底			フロンガスR22使用量の削減 化学物質の適正な管理並びに安全使用の徹底		
二酸化炭素排出量の削減	* 総量の目標 (完工高 284百万円)		2022年度 を基準として中期目標の 2025年度 末まで購入電力の削減は基準年度実績値を維持する		
①購入電力削減	排出量:電力(kg-CO2)	排出量/完工高			
	10,657.79 kg-CO2	37.52 kg-CO2/百万円			
②化石燃料削減	排出量:kg-CO2	排出量/完工高	2022年度 を基準として中期目標の 2025年度 末まで化石燃料削減は基準年度実績値を維持する		
	ガソリン・軽油 30,059.21 kg-CO2	105.84 kg-CO2/百万円			
	LPG・灯油 1,557.65 kg-CO2	5.63 kg-CO2/百万円			
産業廃棄物の削減とリサイクルの促進	リサイクル総量 68.32 t (全体の100.00%)	リサイクル総量/産廃総量	産廃総量の内90%超のリサイクル		
事業所の節水			節水に努める		

5.環境経営計画

(1)環境経営計画

重点項目	具体的な取組内容			担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
環境にやさしい省エネ機器の提案	製品生産量等環境負荷低減に資する製品等の重量の把握	換気扇（重量kg） ＊全熱交換器のみ台数及び重量 空調機（重量kg） 部資材 アルミ・塩ビ・コンクリート・真ちゅう・ステン 鉄・銅・ビニール・プラスチック・ポリエチレン	ダイキン・源冷機・一色機材・名光機器	大橋恒夫												
	循環資源及び資源使用量の把握															
	省エネ機器への更新台数及び重量の把握		フカガワ・丸尾興商・三光電機・丸井産業	大橋清人												
	全熱交換器設置台数及び重量の把握		RYODEN、カパス他	町田真基・森下一	-	-	-	-	-	-	-	-				
				矢五田宏恵										-	-	-
	環境にやさしい省エネ機器の提案及び全熱交換機器設置の推進件数	機器提案（購入、支給品）件数		栗田若葉												
化学物質使用量の削減及び適正な管理（フロンガスR22、エコオイル2）	化学物質使用量の把握 機械の更新を促している。また、修理等のトラブルが発生しない等の理由で使い続けることの出来ている顧客については、機会のあった時に現状を説明し遅かれ早かれ更新の必要があることを伝え、先のことを考えてもらう意識付けを行っている。	フロンガス R22	＊フロン類の充填量及び回収量等に関する報告（静岡県、愛知県、山梨県3月末 提出期限5月15日） (有)ジェス	報告書作成 鈴木勇次 使用量 古橋望武 作業員全員												
	業者から専用のドラム缶を借り入れ、社内敷地内倉庫の軒下で土間コンクリートを打ってある安定した場所へ設置しており、作業の際は薬剤の飛散を招かないよう十分な注意を払っている。	エコオイル2														
	第1種特定製品点検の実施	簡易点検(社内空調機、業務用冷蔵庫) 漏えい点検(社内対象機種)	3ヶ月毎（5月、8月、11月、2月）月初 毎年1回（4月）月初＊法律 3年毎1回以上	古橋望武 鈴木誠治	-				-	-		-	-	-	-	-
二酸化炭素排出量の削減 購入電力及び化石燃料削減	温室効果ガス（二酸化炭素）排出量及び使用量、使用料の把握	電力使用量	中部電力、サイサン	鈴木宏和												
	空調機（EHP・GHP）及び空調の管理を徹底する（保守点検、適温化、運転時間等）	〃 料金（消費税除く）	事務所及び和地事業所													
	ブラインドを効率良く使用し室内温度の適正化を図ると同時に事務所内の明るさをも考慮していく	LPG使用量	サーラエナジー													
	事務所空調機は天カセエアコンを複数設置しており、業務を行っている範囲に応じて使い分けをしている。さらにエアコンから吹き出す風によって動くハイブリッドファンを各室内機に設置している	〃 料金（消費税除く）	事務所													
	事務所の照明には各々の頭上にキャノピースイッチを取付けている。倉庫の一部にも同様のものを施している	ガソリン、軽油、灯油使用量	直接費（現場）＊営業車・役員車除く全て													
	効率的な換気を行いエアコンの負荷が軽減され省エネにも繋がりやすい全熱交換器を空調機と同時に使用する	〃 料金（消費税、軽油	間接費（事務所）＊営業車・役員車のみ													
	PCの効率良い使用、帰宅時主電源OFF	クレーン付きトラック（ユニック）	月1回点検	大橋恒夫												
	事務作業の効率化、分担を図る	フォークリフト	月1回点検、バッテリー液補充	大橋清人												
	会社・現場間の往復において「ついで」の用事、作業を細かく行っていく															
	ドライブを推進する（タイヤ空気圧の適正圧力、アイドリングをしない等）															
産業廃棄物の削減及びリサイクルの促進	一般廃棄物及び産業廃棄物量の把握	マニフェスト、有価 処理料、引取料（消費税除く）	ダンボール、紙類 建築廃材、機器廃材 廃油、クーラント液、乾電池他 ＊産業廃棄物運搬実績報告書静岡県提出 ＊産廃処分量浜松市報告書提出	矢五田宏恵 ＊報告書作成含む												
	端材の効果的な利用 現場で廃材等を分別する 種類別の分別箱の設置 倉庫内の整理整頓 適切なリサイクル業者を特定・選定している															
事業所の節水	元バルブを絞る 垂れ流しをしない 洗濯物をまとめて洗う 洗濯機（2槽式）の効率的な使用をする	上下水道使用量	偶数月		-		-		-		-		-		-	
		〃 料金（消費税除く）	上水、下水別々		-		-		-		-		-		-	
環境整備	環境整備	3F、産廃置場		佐藤敏光												
		1F倉庫、パーツセンター、駐車場	整理整頓、清掃、草取り	古橋望武												
		和地事業所		鈴木誠治												
環境経営上の緊急事態の想定、予防等	環境経営上の緊急事態の想定、予防等	訓練、対策		大橋恒夫 大橋清人												
コミュニケーション記録	コミュニケーション記録	環境コミュニケーションの実施報告（外部からの環境に関する苦情や要望）	＊社内営業担当者（責任者）都度報告必須	二栗健太郎												
その他		従業員数	延べ人数 ＊パートタイム労働者換算 1ヶ月当たり所定労働時間 （365日-110日）/12≒21日×8h＝168h ∴ 168h＝1人	矢五田宏恵												
		売上高、件数	工事、修理、保守 ↳ 元請、下請 ↳ 民間、公共機関													
	環境への取り組みの自己チェック			全社員対象	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

6. 環境経営目標の実績

(1)環境経営目標の達成状況及び環境経営活動計画の実施状況

* 評価基準 ○・・・目標≧実績 △・・・目標<実績⑩10%以下 ×・・・目標<実績⑩10%超

重点項目	目標	実績	評価	比較グラフ
環境にやさしい 省エネ機器の提案 4 省のよい投資を みんなに 12 つくも未来を つかう未来		積極的に提 案を行って いく	○	省エネ機器への更新及び新規購入の提案 全熱交換器設置の推進
化学物質使用量の削減及び適正な管理 フロンガスR22 エコオイル2 11 社会課題の解決を みんなに 13 社会課題に 取り組む未来			○	

6. 環境経営目標の実績

(1) 環境経営目標の達成状況及び環境経営活動計画の実施状況

* 評価基準 ○・・・目標≧実績 △・・・目標<実績⑩10%以下 ×・・・目標<実績⑩10%超

重点項目	目標	実績	評価	比較グラフ																									
二酸化炭素総排出量の推移				<table><tr><th></th><th>2020年</th><th>2021年</th><th>2022年</th><th>2023年</th><th>2024年</th><th>2025年</th></tr><tr><td>目標 kg-CO2</td><td>43,437.31</td><td>42,998.55</td><td>41,606.17</td><td>41,190.11</td><td>40,774.05</td><td>40,357.98</td></tr><tr><td>総合計 kg-CO2</td><td>47,176.04</td><td>42,406.48</td><td>41,606.17</td><td>43,109.14</td><td>44,425.61</td><td></td></tr></table>		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	目標 kg-CO2	43,437.31	42,998.55	41,606.17	41,190.11	40,774.05	40,357.98	総合計 kg-CO2	47,176.04	42,406.48	41,606.17	43,109.14	44,425.61					
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年																							
目標 kg-CO2	43,437.31	42,998.55	41,606.17	41,190.11	40,774.05	40,357.98																							
総合計 kg-CO2	47,176.04	42,406.48	41,606.17	43,109.14	44,425.61																								
購入電力削減 kg-CO₂/百万円 CO2排出量調整後排出係数の算出は以下の数値を使用しました(2022年度) 和地倉庫 中部電力ミライズ(株) 0.388kg-CO2/kwh 事務所 (株)エネワンでんき 0.448kg-CO2/kwh (旧(株)サイゼン) 7 エネルギーを上手に 使ってカーボン	37.52	33.36 (達成率 112.5%)	○	二酸化炭素排出量(購入電力) <table><tr><th></th><th>基準年度2022年</th><th>2023年</th><th>2024年</th><th>2025年</th></tr><tr><td>購入電力目標値 kg-CO₂/百万円</td><td>37.52</td><td>37.52</td><td>37.52</td><td>37.52</td></tr><tr><td>実排出量計 kg-CO₂/百万円</td><td>37.52</td><td>33.35</td><td>33.36</td><td></td></tr><tr><td>電力使用量計 kwh/百万円</td><td>83.95</td><td>74.63</td><td>74.64</td><td></td></tr><tr><td>完工高 百万円</td><td>284</td><td>318</td><td>323</td><td></td></tr></table>		基準年度2022年	2023年	2024年	2025年	購入電力目標値 kg-CO ₂ /百万円	37.52	37.52	37.52	37.52	実排出量計 kg-CO ₂ /百万円	37.52	33.35	33.36		電力使用量計 kwh/百万円	83.95	74.63	74.64		完工高 百万円	284	318	323	
	基準年度2022年	2023年	2024年	2025年																									
購入電力目標値 kg-CO ₂ /百万円	37.52	37.52	37.52	37.52																									
実排出量計 kg-CO ₂ /百万円	37.52	33.35	33.36																										
電力使用量計 kwh/百万円	83.95	74.63	74.64																										
完工高 百万円	284	318	323																										

6. 環境経営目標の実績

(1)環境経営目標の達成状況及び環境経営活動計画の実施状況

* 評価基準 ○・・・目標≧実績 △・・・目標<実績⑩%以下 ×・・・目標<実績⑩%超

重点項目	目標	実績	評価	比較グラフ																																																							
化石燃料削減 (事業所+建設現場) kg-CO₂/百万円 3 すべての人に 健康と福祉を 7 エネルギーを持 たえてカーボンに ついてクリーンに 11 住み続けられ るまちづくりを 13 気候変動に 具体的な対策を <tr><td>111.47</td><td>106.71 (達成率 104.5%)</td><td>○</td><td> 二酸化炭素排出量(化石燃料合計) <table><thead><tr><th></th><th>基準年度2022年</th><th>2023年</th><th>2024年</th><th>2025年</th></tr></thead><tbody><tr><td>化石燃料目標値 kg-CO₂/百万円</td><td>111.47</td><td>111.47</td><td>111.47</td><td>111.47</td></tr><tr><td>実排出量 kg-CO₂/百万円</td><td>111.47</td><td>104.13</td><td>106.71</td><td></td></tr><tr><td>化石燃料使用量 kg/百万円</td><td>35.30</td><td>33.14</td><td>33.83</td><td></td></tr><tr><td>完工高 百万円</td><td>284</td><td>318</td><td>323</td><td></td></tr></tbody></table></td></tr> <tr><td> 化石燃料削減 (事業所+建設現場) kg-CO₂/百万円 ガソリン 軽油 * 換算値 ガソリン1ℓ=0.756kg 軽油 1ℓ=0.79kg 3 すべての人に 健康と福祉を 11 住み続けられ るまちづくりを 13 気候変動に 具体的な対策を <tr><td>105.84</td><td>101.82 (達成率 103.9%)</td><td>○</td><td> 二酸化炭素排出量(ガソリン・軽油) <table><thead><tr><th></th><th>基準年度2022年</th><th>2023年</th><th>2024年</th><th>2025年</th></tr></thead><tbody><tr><td>化石燃料目標値 kg-CO₂/百万円</td><td>105.84</td><td>105.84</td><td>105.84</td><td>105.84</td></tr><tr><td>実排出量 kg-CO₂/百万円</td><td>105.84</td><td>99.42</td><td>101.82</td><td></td></tr><tr><td>使用量 kg/百万円</td><td>34.27</td><td>32.23</td><td>33.04</td><td></td></tr><tr><td>完工高 百万円</td><td>284</td><td>318</td><td>323</td><td></td></tr></tbody></table></td></tr></td></tr>	111.47	106.71 (達成率 104.5%)	○	二酸化炭素排出量(化石燃料合計) <table><thead><tr><th></th><th>基準年度2022年</th><th>2023年</th><th>2024年</th><th>2025年</th></tr></thead><tbody><tr><td>化石燃料目標値 kg-CO₂/百万円</td><td>111.47</td><td>111.47</td><td>111.47</td><td>111.47</td></tr><tr><td>実排出量 kg-CO₂/百万円</td><td>111.47</td><td>104.13</td><td>106.71</td><td></td></tr><tr><td>化石燃料使用量 kg/百万円</td><td>35.30</td><td>33.14</td><td>33.83</td><td></td></tr><tr><td>完工高 百万円</td><td>284</td><td>318</td><td>323</td><td></td></tr></tbody></table>		基準年度2022年	2023年	2024年	2025年	化石燃料目標値 kg-CO ₂ /百万円	111.47	111.47	111.47	111.47	実排出量 kg-CO ₂ /百万円	111.47	104.13	106.71		化石燃料使用量 kg/百万円	35.30	33.14	33.83		完工高 百万円	284	318	323		化石燃料削減 (事業所+建設現場) kg-CO₂/百万円 ガソリン 軽油 * 換算値 ガソリン1ℓ=0.756kg 軽油 1ℓ=0.79kg 3 すべての人に 健康と福祉を 11 住み続けられ るまちづくりを 13 気候変動に 具体的な対策を <tr><td>105.84</td><td>101.82 (達成率 103.9%)</td><td>○</td><td> 二酸化炭素排出量(ガソリン・軽油) <table><thead><tr><th></th><th>基準年度2022年</th><th>2023年</th><th>2024年</th><th>2025年</th></tr></thead><tbody><tr><td>化石燃料目標値 kg-CO₂/百万円</td><td>105.84</td><td>105.84</td><td>105.84</td><td>105.84</td></tr><tr><td>実排出量 kg-CO₂/百万円</td><td>105.84</td><td>99.42</td><td>101.82</td><td></td></tr><tr><td>使用量 kg/百万円</td><td>34.27</td><td>32.23</td><td>33.04</td><td></td></tr><tr><td>完工高 百万円</td><td>284</td><td>318</td><td>323</td><td></td></tr></tbody></table></td></tr>	105.84	101.82 (達成率 103.9%)	○	二酸化炭素排出量(ガソリン・軽油) <table><thead><tr><th></th><th>基準年度2022年</th><th>2023年</th><th>2024年</th><th>2025年</th></tr></thead><tbody><tr><td>化石燃料目標値 kg-CO₂/百万円</td><td>105.84</td><td>105.84</td><td>105.84</td><td>105.84</td></tr><tr><td>実排出量 kg-CO₂/百万円</td><td>105.84</td><td>99.42</td><td>101.82</td><td></td></tr><tr><td>使用量 kg/百万円</td><td>34.27</td><td>32.23</td><td>33.04</td><td></td></tr><tr><td>完工高 百万円</td><td>284</td><td>318</td><td>323</td><td></td></tr></tbody></table>		基準年度2022年	2023年	2024年	2025年	化石燃料目標値 kg-CO ₂ /百万円	105.84	105.84	105.84	105.84	実排出量 kg-CO ₂ /百万円	105.84	99.42	101.82		使用量 kg/百万円	34.27	32.23	33.04		完工高 百万円	284	318	323	
111.47	106.71 (達成率 104.5%)	○	二酸化炭素排出量(化石燃料合計) <table><thead><tr><th></th><th>基準年度2022年</th><th>2023年</th><th>2024年</th><th>2025年</th></tr></thead><tbody><tr><td>化石燃料目標値 kg-CO₂/百万円</td><td>111.47</td><td>111.47</td><td>111.47</td><td>111.47</td></tr><tr><td>実排出量 kg-CO₂/百万円</td><td>111.47</td><td>104.13</td><td>106.71</td><td></td></tr><tr><td>化石燃料使用量 kg/百万円</td><td>35.30</td><td>33.14</td><td>33.83</td><td></td></tr><tr><td>完工高 百万円</td><td>284</td><td>318</td><td>323</td><td></td></tr></tbody></table>		基準年度2022年	2023年	2024年	2025年	化石燃料目標値 kg-CO ₂ /百万円	111.47	111.47	111.47	111.47	実排出量 kg-CO ₂ /百万円	111.47	104.13	106.71		化石燃料使用量 kg/百万円	35.30	33.14	33.83		完工高 百万円	284	318	323																																
	基準年度2022年	2023年	2024年	2025年																																																							
化石燃料目標値 kg-CO ₂ /百万円	111.47	111.47	111.47	111.47																																																							
実排出量 kg-CO ₂ /百万円	111.47	104.13	106.71																																																								
化石燃料使用量 kg/百万円	35.30	33.14	33.83																																																								
完工高 百万円	284	318	323																																																								
化石燃料削減 (事業所+建設現場) kg-CO₂/百万円 ガソリン 軽油 * 換算値 ガソリン1ℓ=0.756kg 軽油 1ℓ=0.79kg 3 すべての人に 健康と福祉を 11 住み続けられ るまちづくりを 13 気候変動に 具体的な対策を <tr><td>105.84</td><td>101.82 (達成率 103.9%)</td><td>○</td><td> 二酸化炭素排出量(ガソリン・軽油) <table><thead><tr><th></th><th>基準年度2022年</th><th>2023年</th><th>2024年</th><th>2025年</th></tr></thead><tbody><tr><td>化石燃料目標値 kg-CO₂/百万円</td><td>105.84</td><td>105.84</td><td>105.84</td><td>105.84</td></tr><tr><td>実排出量 kg-CO₂/百万円</td><td>105.84</td><td>99.42</td><td>101.82</td><td></td></tr><tr><td>使用量 kg/百万円</td><td>34.27</td><td>32.23</td><td>33.04</td><td></td></tr><tr><td>完工高 百万円</td><td>284</td><td>318</td><td>323</td><td></td></tr></tbody></table></td></tr>	105.84	101.82 (達成率 103.9%)	○	二酸化炭素排出量(ガソリン・軽油) <table><thead><tr><th></th><th>基準年度2022年</th><th>2023年</th><th>2024年</th><th>2025年</th></tr></thead><tbody><tr><td>化石燃料目標値 kg-CO₂/百万円</td><td>105.84</td><td>105.84</td><td>105.84</td><td>105.84</td></tr><tr><td>実排出量 kg-CO₂/百万円</td><td>105.84</td><td>99.42</td><td>101.82</td><td></td></tr><tr><td>使用量 kg/百万円</td><td>34.27</td><td>32.23</td><td>33.04</td><td></td></tr><tr><td>完工高 百万円</td><td>284</td><td>318</td><td>323</td><td></td></tr></tbody></table>		基準年度2022年	2023年	2024年	2025年	化石燃料目標値 kg-CO ₂ /百万円	105.84	105.84	105.84	105.84	実排出量 kg-CO ₂ /百万円	105.84	99.42	101.82		使用量 kg/百万円	34.27	32.23	33.04		完工高 百万円	284	318	323																															
105.84	101.82 (達成率 103.9%)	○	二酸化炭素排出量(ガソリン・軽油) <table><thead><tr><th></th><th>基準年度2022年</th><th>2023年</th><th>2024年</th><th>2025年</th></tr></thead><tbody><tr><td>化石燃料目標値 kg-CO₂/百万円</td><td>105.84</td><td>105.84</td><td>105.84</td><td>105.84</td></tr><tr><td>実排出量 kg-CO₂/百万円</td><td>105.84</td><td>99.42</td><td>101.82</td><td></td></tr><tr><td>使用量 kg/百万円</td><td>34.27</td><td>32.23</td><td>33.04</td><td></td></tr><tr><td>完工高 百万円</td><td>284</td><td>318</td><td>323</td><td></td></tr></tbody></table>		基準年度2022年	2023年	2024年	2025年	化石燃料目標値 kg-CO ₂ /百万円	105.84	105.84	105.84	105.84	実排出量 kg-CO ₂ /百万円	105.84	99.42	101.82		使用量 kg/百万円	34.27	32.23	33.04		完工高 百万円	284	318	323																																
	基準年度2022年	2023年	2024年	2025年																																																							
化石燃料目標値 kg-CO ₂ /百万円	105.84	105.84	105.84	105.84																																																							
実排出量 kg-CO ₂ /百万円	105.84	99.42	101.82																																																								
使用量 kg/百万円	34.27	32.23	33.04																																																								
完工高 百万円	284	318	323																																																								

6. 環境経営目標の実績

(1)環境経営目標の達成状況及び環境経営活動計画の実施状況

* 評価基準 ○・・・目標≧実績 △・・・目標<実績⑩10%以下 ×・・・目標<実績⑩10%超

重点項目	目標	実績	評価	比較グラフ												
産業廃棄物のリサイクル 12 つくる責任 つなぐ責任	90%	98.94% (達成率 109.9%)	○	産業廃棄物排出量及びリサイクル率 <table><tr><td>産業廃棄物 t</td><td>2022年</td><td>2023年</td><td>2024年</td></tr><tr><td>目標値 廃棄物総量の内90%超 t</td><td>61.49</td><td>64.23</td><td>42.88</td></tr><tr><td>リサイクル率</td><td>97.79%</td><td>97.52%</td><td>98.94%</td></tr></table>	産業廃棄物 t	2022年	2023年	2024年	目標値 廃棄物総量の内90%超 t	61.49	64.23	42.88	リサイクル率	97.79%	97.52%	98.94%
産業廃棄物 t	2022年	2023年	2024年													
目標値 廃棄物総量の内90%超 t	61.49	64.23	42.88													
リサイクル率	97.79%	97.52%	98.94%													
事業所の節水 6 安全な水とトイレ を世界中に	170m ³	168m ³ (達成率 101.2%)	○	使用量 <table><tr><td>水使用量(上水) m³</td><td>2020年</td><td>2021年</td><td>2022年</td><td>2023年</td><td>2024年</td></tr></table>	水使用量(上水) m ³	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年						
水使用量(上水) m ³	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年											

7. 経営計画の取組結果

重点項目	環境活動取組の内容	活動内容の評価		次年度の取組
環境にやさしい 省エネ機器の提案	省エネ機器への更新及び新規購入の提案	○	現担当者は、メーカー担当者とコミュニケーションを密にし、あらかじめ自己の知識を深め、機器の更新、修理・保守点検等の際顧客へ分かりやすい適切なアドバイスを心がけている。	現担当者は、今年度の取組内容を継続しておこなっていく。
	全熱交換器設置の推進	○		
化学物質使用の削減 及び適正な管理 (フロンガスR22、エコ オイル2)	R22が使われている機械の更新を促している。また、修理等のトラブルが発生しない等の理由で使い続けることの出来ている顧客については、機会のあった時に現状を説明し遅かれ早かれ更新の必要があることを伝え、先のことを考えてもらう意識付けを行っている。	○	複数台設置されている比較的規模の大きい工場等については、機械の更新が計画的かつ順調に進んでおり最終的な工事計画まで確認は済んでいる。回収されたフロンガスは、処理工場へ破壊又は再生のいずれかで処理を依頼している。この処理方法の詳細は工事概況説明の際、顧客側の現状、世の現況を的確に説明し、選択をする判断基準として貰っている。現在問題なく稼働している機器の顧客については、更新へ繋げていくことは困難な感はあるが、理解度は進んできている。	今年度の取組内容を継続し、更新の遅れている顧客先には、今後予測されるトラブルから発生するリスクの大きさを詳細に伝えていく。同時にフロン類漏えい点検に基づく簡易点検について「機械の所有者」として行うべく点検項目、その内容、方法等をアドバイスしていく。
	業者から専用のドラム缶を借り入れ、社内敷地内倉庫の軒下で土間コンクリートを打ってある安定した場所へ設置している	○	作業をするときは細心の注意を払い、ながら作業をしないことを徹底している。終了後は備え付けの密閉性を施してある蓋を閉め、更にその蓋の上に雨水混入防止及びドラム缶の腐食防止対策として鉄板を覆いかぶせている。	
購入電力削減	空調機(EHP)及び空調の管理を徹底する(適温化、運転時間、保守点検等)	○	季節によって適正温度、運転時間等が定められており、社員全員が認識し守られている。各種点検、フィルターの掃除等担当者を決めて随時実施している。	今年度の取組内容を継続し、日々削減できる取組みを社員各々おこなっていく
	ブラインドを効率良く使用し室内温度の適正化を図ると同時に事務所内の明るさをも考慮していく	○	ブラインドを上手に使用し、事務所内温度の適正化及び照明の共有も同時に図っている	
	効率的な換気を行うため、エアコンの負荷の軽減と省エネに繋がる全熱交換器を空調機と同時に使用する	○	加湿器・扇風機等の季節家電及び空調機の適切な使用を心掛けた。	
	事務所の照明には各々の頭上にキャノピースイッチを取付けている。倉庫の一部にも同様のものを施している	○	使用しないときは各自が消灯している。忘れていた時でも気付いた人が消灯している	
	事務所空調機は天カセエアコンを複数設置しており、業務を行っている区域に応じて使い分けをしている。さらにエアコンから吹き出す風によって動くハイブリッドファンを各室内機に設置している	○	エアコンの適切な使用は行われている。ハイブリッドファンが空気を攪拌するため、エアコンがフル稼働していなくても体感温度差はさほど感じない	
	PCの効率良い使用、帰宅時主電源OFF	○	主電源は帰宅の際は必ず切られている。	
	事務作業の効率化、分担を図る	○	事務作業の効率化は随時行われており、PCの効率良い使用にもつながってきている。	
化石燃料削減	エコドライブを推進する	○	長時間にわたる停車(駐車 という概念)に当てはまるときは、エンジンを切ることを心がけることを呼びかけてきた。	今年度の取組内容を継続し、日々削減できる取組を社員各々おこなっていく。
	会社・現場間の往復において「ついでの」用事、作業を細かく行っていく	△	現場へ向かう前の準備を怠らず、最低限の車両にて現場へ行くことを心掛けた	
	現場への相乗り	△	上記同様の心掛けは行った。	
	自転車通勤の推奨	△	社員各々が健康の為にとできる限り自転車通勤を行っているものもいる。	
	クレーン付きトラック及びフォークリフトの自主点検を定期的に行っている	○	担当者を定め点検整備を実施している	
	空調機(GHP)及び空調の管理を徹底する(保守点検、適温化、運転時間等)	○	季節によって適正温度、運転時間等が定められており、社員全員が認識し守られている。各種点検、フィルターの掃除等担当者を決めて随時実施している。	
	ブラインドを効率良く使用し室内温度の適正化を図る	○	ブラインドを上手に使用し、事務所内温度の適正化も同時に図っている	
産業廃棄物の削減及 びリサイクルの促進	端材の効果的な利用	○	端材を利用し作業の事前練習、作業初心者の実践練習に使用している	今年度の取組内容を継続し、日々削減できる取組を社員各々おこなっていく。
	現場で廃材等を分別する	△	現場、社内それぞれにおいて、社員各人が分別を意識し、間違いが発見された場合はその場の指導がすぐに行われている。	
	種類別の分別箱の設置	○		
	倉庫内の整理整頓	○	倉庫内には、棚を増設し各種部材の整理整頓に務めている	
	適切なリサイクル業者を特定・選定している	○	排出された廃棄物に応じて適切な産廃処理業者へ委託し、産廃マニフェスト記載内容の確認及びE標の確認もその都度行っている	
事業所の節水	元バルブを絞る	○	2層式洗濯機を使用しているため、最後のすすぎの水は残し、次の洗濯用として使用している。軍手、ウエス用タオル等作業で使用したものは、予洗いを行いある程度まともして洗濯を行っている。	今年度の取組内容を継続しておこなっていく
	垂れ流しをしない	○		
	洗濯機(2槽式)の効率的な使用をする	○		
	洗濯物をまとめて洗う	○		

8.問題の是正処置・予防処置及びその結果

重点項目	問題点	原因	是正処置・予防処置	結果
環境にやさしい省エネ機器の提案	エコと省エネそれぞれ機器のもつ特徴及びそれら機器を併用することで発生するメリット、デメリットについて顧客の意に沿った内容から判断し、より良い提案をすることが難しい	無駄なエネルギーの削減を目指す省エネと環境への配慮を目的とするエコそれぞれへの理解及びそれら機器の選択又は併用することの判断の難しさ	メーカーのカタログを提示すると共に、電気代の削減につながる省エネ機器の設置及び空調機の負荷の軽減につながる機器の設置又はいずれかの機器設置の提案を行っていく	顧客の理解及び認知度は上がってきた
化学物質使用量の削減と適正な管理 (フロンガスR22)	・設置台数が少ない等比較的規模の小さい顧客先の更新の進み具合が鈍い	・機械の「延命」を希望される。機械のトラブルが発生してもリユース品・小額の部品交換を希望される ・同じ会社に設置されている複数の機械の内、他社がメンテナンス対応している機械でも当社作業員の対応及び技術力の良さが評価され、ガス漏れに関する修理のみ依頼を受ける	あらゆる手段を講じて自分自身の技術レベル及び知識の向上に努め、意識して顧客先とコミュニケーションを図ることで更新に対する要望等を聞き出し、顧客に沿った最善の提案を行う 更に機械自体も相当古く20年近く経過しており、現在の機械との消費電力の違いが圧倒的に違うことを説明していく	
購入電力削減	目標値は達成しているが、使用量を通年で把握すると減少していない	今まで使用量の比較、把握を行ってなかった	来年度全従業員を対象として、使用量を減らす対策を考え行動に起こしていく	
化石燃料削減	目標値は達成しているが、使用量を通年で把握すると減少していない	今まで使用量の比較、把握を行ってなかった	来年度全従業員を対象として、使用量を減らす対策を考え行動に起こしていく	
産業廃棄物の削減及びリサイクルの促進	廃材等現場での分別が出来ず雑多な状態で会社へ持ち帰り、多忙な時ほど放置状態になる	作業に追われ現場での分別に割く時間をとることが難しい場合がある	原則 一般廃棄物及び産業廃棄物が発生する段階から最終段階(マニフェストE標の確認)まで、それぞれに携わる各担当者が決められた業務を行うが、各所で業務の不足が判明した時点で社内コミュニケーションを図り不足している作業のフォローを行う	フォローに費やされる作業時間は相応であり、結果論ではあるが各担当者の知識の拡大にも繋がった
事業所の節水	今期は努力した結果が反映されている	-	社員一人一人の努力を継続していく	

9.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1) 当該環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局よりの違反等の指摘や訴訟等は、過去3年間ありません。

(2) 環境関連法規制等一覧表／遵守状況確認表

作成： 二栗

No.	法規制等名称	遵守事項	資格/許可	適用を受ける設備、活動等	担当	確認
1	フロン排出抑制法	・冷媒用フロンの回収、破壊措置 ・届出(静岡県、愛知県、山梨県等) ・冷媒フロン回収技術者 ・年次報告書、帳簿類の発行及び保管 ・冷凍空調機器の簡易点検・定期点検の義務化 ・漏えいを発見した場合には、速やかな漏えい個所の特定及び修理を実施 ・機器の点検・修理やフロン類の充填・回収等の機器整備に関する履歴の記録・保存義務 ・算定漏えい量の報告 ・機器を廃棄する際は、フロン類を回収しなければならない	許可No. 個人資格	・冷凍、空調設備の工事、修理、更新時 (対象:顧客先、自社空調機) ・冷凍、空調、冷却設備の保守点検 (対象:顧客先、自社空調機)	事務局	3月1日 各県の環境部の報告書により確認 現場及び整備記録簿にて確認
2	高圧ガス保安法	高圧ガスの取扱いの事前届出、管理	許可No.	・フロンガス ・LPG ・高圧ガス(酸素、窒素、炭酸ガス、アセチレン)	事務局	3月1日 管理台帳により確認
3	消防法	消防法危険物の事前届出、管理	乙種	・エンジンオイル ・クーラント ・灯油	事務局	3月1日 確認
4	廃棄物処理法	<事業系一般廃棄物> ・業者委託処理 ・分別処理 <産業廃棄物> ・適正な保管(飛散、油類の流出防止、等) ・業者委託処理の書面契約(運搬、処理、現地確認) ・マニフェスト伝票管理 ・リサイクルの促進 ・掲示板の設置 ・産業廃棄物管理票交付等状況報告(毎年6月末までに)		・事務所の廃棄物 ・工事、修理、更新時の廃材	事務局	3月1日 委託業者からの伝票にて確認
5	化学物質管理促進法 ・SDS制度	有害又は有害の恐れのある化学物質の適正管理 ・化学物質等安全データシート(SDS)の提供 - 又は入手 ・対象化学物質の取扱い管理		・フロンガス ・エコオイル2	事務局	3月1日 確認
6	オゾン層保護法	・特定物質(フロンガス等)の回収、破壊	許可No. 個人資格	・冷凍、空調設備の工事、修理、更新時 ・解体工事	事務局	3月1日 回収報告書にて確認
7	建築基準法	・換気設備の義務化 ・アスベストの撤去	個人資格	・空調、換気設備工事及び改修工事 ・解体工事	事務局	3月1日 現場にて確認

10. 教育・訓練の実施

<全従業員対象>

・環境経営管理責任者が全社員を対象として、月1回各自が取り組んだ内容の報告会議を行っている。会議の中で報告された問題点等については、その場若しくは改善・解決策が見出された時点で全員に提案、発表し実行を促している。

・「環境への負荷と環境への取組状況の把握及び評価」を行うためのデータ収集の担当を割り振り、手順書又は同僚からの指導を受け各自取り組んでいる

<現場作業員>

現場から排出された建設廃棄物は、リサイクルされる原料となるように現場で分別を行っている。

当社業務において欠かすことの出来ないフロン排出抑制法の遵守事項として定められている業務において、必須の資格となる冷媒回収技術者及び第一種、第二種冷媒フロン類取扱技術者の取得を全作業員に課している。

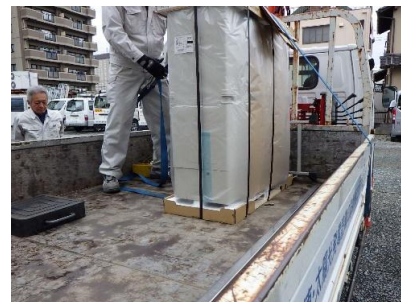
使用車両には工事部長を管理責任者とし、作業員の車両ごとに消火器・水入り用バケツが常備されており、入場頻度の多い協力業者さんには同意の上、消火器・水入り用バケツを貸与している。さらに同部長はエコドライブ推進者となっており、他の作業員へもエコドライブを呼びかけている。

10.環境経営上の緊急事態の想定、予防策

ユニック車での機器の運搬及び諸々付属品運搬時緊急事態を想定したときの対応策及び有効性の検証

訓練日時 R7.1.19(金)9:00～9:30

緊急事態を引き起こす要因	想定される現象	対策、予防措置	有効性の検証
積み付け、固縛が不十分 偏荷重 荷崩れ 車両の横転 荷台、あおり、機器の破損・破壊 車間距離の詰めすぎ 知らない道の走行 突然発生したトラブルによる心理的動揺 運転者の未熟さ 運転中の急ブレーキ 〃 急ハンドル 〃 急な車線変更 乱暴な急発進 道路の凸凹、段差、悪天候時の走行	荷台又はあおりの破損 機器等付属部品含む破損 機器破壊によるオイル、ガス漏れ 訓練 対象者9人/実施者9人	荷台のあおりはしっかり固定する 機器等荷台で動かないようロープ、バンド等で確実に固定する 固定した後は必ず責任者が確認し手直しすべき箇所が認められた場合は、作業を行った担当者と共に再度確実に固定し技術面の向上も図っていく オイル吸着マットを車内に積んでおく 走行中少しの違和感でも感じた時は安全な場所で停車し荷台の確認をする 長距離走行する時は2～3時間を目安に安全な場所で停車し固縛状態の点検を実施する 現地までの経路の確認 回り道でも安全な経路で向かう 車間距離をしっかりとる 到着時間に余裕をもって出発する 当日の天候、道路情報、道路状況は的確に把握する 当日の道路状況によっては運転者の適性を考慮する 常日頃から平常心での運転を心掛ける	定例の技術会議にて全作業員が参加し、検証を行った。 現時点において対応策予防措置に問題はなかった。 今後作業員から問題提起等が起きた時には、随時解決し、必要に応じて内容を変更していくことを確認した。



12.代表者による全体の評価と見直し

2025年4月28日

環境管理責任者:鈴木勇次

	項 目	確認	(必要に応じて評価・コメント記載)
1 見 直 し 関 連 情 報	1 エコアクション21文書	☒	「記録・文書」として作成しました。
	2 環境経営目標及び目標達成状況	☒	継続して取り組みます
	3 環境経営計画及び取り組み実施状況	☒	継続して取り組みます
	4 環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒	レポートに記載いたしました。
	5 外部コミュニケーション・対応記録	☒	記録に記載いたしました。
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	☒	別紙報告の通り
	7 取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☐	
	8 その他()	☐	

2 代 表 者 に よ る 全 体 評 価 ・ 見 直 し 指 示	全体評価 今回で認証取得（2008年6月13日）後第9回中間審査となりました。 この1年間を振り返りますと、新型コロナ感染も落ち着き、経済活動も動き始めましたが世界の地域戦争の拡大が予想され、各種地下資源供給には大きな課題となり、なお令和7年度に入り突然の貿易条件等変化の激しい実体経済変化の時代となり中小企業の経済活動は苦境に立たされております。 今後は地球温暖化により、ますます長期間の気温上昇は世界全体の対応が求められている。 しかし空調業界等においては、熱中症対策としてエアコンが絶対に必要となり、経済上は自然環境にサポートされている様相となっている。 今後さらに当社業種に求められている、地球温暖化による地球もオゾン層破壊の原因とされている。空調機に使用されている「冷媒フロンガス回収、破壊、再生」の充実が必要条件となり、当社ではさらに空調機、冷凍機、関連部材の分解、分別作業の実施に取組み定着化に努めてまいりました。 また、資源の再活用取組みとして「子供たちに物の大切さを教え、伝えたい」と「おもちゃ病院」を開院して年間取り組みできました。 地域の方々にも社会貢献上でも高い評価をいただいております。このような活動は、社員の理解、地道な社内連携力による結果と評価するものであります。 今後も更なる環境対策には「知恵・工法・考動・実行」で地道に社内連携力を高め取組む重要性を感じます。 社員皆様の努力に感謝を申し上げます。		
	見直し 環境経営目標、計画について、さらに充実を目指すことが重要で見直す必要ないと判断します。 新入社員、中途採用者等には若干環境意識差を感じます。 意識向上の対策案として、社内研修会等による意識向上、さらに共有化を図りたい。 今後はさらに熱中症対策として、我が社は「熱中症対応のエアコンクリニック」社員は「エアコンドクター」の意識での取り組みの共有化を図る。		
	2025年4月28日 代表取締役 辻村 勝		
	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境経営方針	有 ☒	
	2 環境経営目標	有 ☒	
	3 環境経営計画	有 ☒	
	4 実施体制	有 ☒	
	5 その他のシステム要素	有 ☒	
	6 その他(外部への対応)	有 ☒	